農業イノベーション・農食ビジネスの推進

- **効率的で収益性が高い水田輪作体系を構築するため、産学官金連携のプロジェクトチームにより、スマート農業技術や環境負荷低減技術等を用いた実証を行います。**
- **ウェブサイト・ＳＮＳを活用した情報発信や生産地と消費地の近さを活かした取り組みにより地産地消を促進します。**



市内東部地域と西部地域でモデル農地を設置し、水田での水稲生産を主軸として園芸品目や他穀類を生産する輪作体系案の構築及びスマート農業技術等を用いた実証を行っています。





生産地と消費地の近さを活かし、鮮度が重要な野菜をその日のうちに提供する「今朝採り枝豆」など農産物の付加価値向上の取り組みや、市内の飲食店とのマッチング、webサイト等での生産者の紹介など、地産地消につながる取り組みを行っています。

企業の皆様へのメッセージ

昔、江戸を流通する米の３分の２は「仙台米」と言われ、江戸の食を支えていた仙台の農業。
その伝統ある仙台の農業を未来につなげるため、イノベーションによる新しい農業や地産地消の取り組みを一緒に進めてみませんか？

担当： 経済局 農業振興課　TEL022-214-8335・8266